



大阪府済生会千里病院 地域支援センター 地域医療連絡室だより

編集・発行
済生会千里病院 地域支援センター
地域医療連絡室
〒565-0862
吹田市津雲台 1-1-6
TEL 0120-115-031 (登録医専用)
FAX 06-6871-5915

平成 20 年度 登録医会秋季研修会並びに学術講演会

平成 20 年 9 月 13 日 (土) 午後 3 時 30 分より千里ライフサイエンスセンターにて開催いたしました。総勢 93 名のご参加を頂き、盛会となりました。

学術特別講演 「骨粗鬆症性椎体骨折の予後と治療」

大阪市立大学大学院 医学研究科 准教授 中村 博亮 先生



発生、進化から脊椎の構造について

脊椎動物の発生、人類の二足歩行へ進化の過程において脊椎は彎曲するようになった。骨盤の傾斜は約 60 度で停止しており下位腰椎は 30 度程度傾き腹側へすべるベクトルがはたらいっている、そのため腰椎は全体に前湾を呈し後湾を呈する胸椎との移行部では荷重の集中がある。したがって、この二つの部位に腰痛性疾患は集中する傾向がある。

椎体骨折の発生と治療、特に椎体形成術について

骨粗鬆症による骨脆弱性椎体骨折の治療は安静とコルセット、鎮痛剤などでなされてきたが偽関節に伴う痛みが持続する例が意外に多くあることが明らかになってきた。癒合していない部分をバルーンで拡大し、内視鏡的に瘢痕組織を除去しバイオペックス (リン酸カルシウム骨ペースト) を充填することで痛みが消失する。経年的椎体の圧縮は 10% 程度と少なく痛みの再発もない。

椎体骨折の前向き研究の結果

椎体骨折の予後調査、500 例の 65 歳以上の椎体骨折の前向き研究を行った。寝たきりへの移行と偽関節の間に関係があり、偽関節の予測因子としては受傷早期の MRI 像が参考になる事が判明した。(筆者：整形外科 庄司主任部長)

学術講演 「当科における内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) による早期胃癌治療の現状」

大阪府済生会千里病院 消化器内科医員 後藤 靖和

ESD は 1990 年代半ばに開発された比較的新しい内視鏡的治療手技である。従来行われていた EMR、ERHSE 法を端緒とし、全周切開のみならず粘膜下層を剥離することで様々な病変に対して一括切除が可能となった。

ESD の適応の原則としては、リンパ節転移の可能性がほとんどなく、腫瘍が一括切除できる大きさと部位にあることであり、具体的な絶対適応病変は 2cm 以下の粘膜内病変、ul (-) の分化型癌である。また適応拡大病変としては 2cm を超える ul (-) の分化型の粘膜内癌、3cm 以下の ul (+) の分化型の粘膜内癌が挙げられる。

当科における ESD の現状としては、ガイドライン病変 (絶対適応病変) を基本とするが適応拡大病変にも対応可能である。食道、大腸については今後の課題である。治療に用いるデバイスの進化は著しく針状ナイフの先端に絶縁チップをつけた IT ナイフに始まり、所謂先端系デバイスといわれる Hook ナイフ、Flex ナイフ、ナイフ自体が送水機能を持つ FlushKnife など様々な工夫がされてきた。内視鏡自体や高周波発生装置の進化も目を見張るものがある。今回は IT ナイフおよび FlushKnife による実際の切除例 2 例を供覧する。(筆者：内科 後藤医員)



懇親会

場所:6階(千里ルーム)

多数のご出席をいただき、
顔の見える病診、診診連携の親交を
深めることができました。



登録医の先生方からの質問コーナー
もありました

新任医師のご紹介



このたび、2008年9月1日より、大阪府済生会千里病院副院長兼泌尿器科部長として就職しました木内利明です。

昭和51年大阪大学医学部卒業、同大学医学部付属病院第2外科、麻酔科で研修後、昭和52年大阪大学大学院医学研究科博士課程入学し腫瘍免疫学について研究。昭和56年博士課程終了後、大阪大学医学部付属病院泌尿器科にて研修、昭和57年大阪府立成人病センターに就職し、平成20年8月まで、27年間勤務しました。その間専ら、尿路性器癌の診療・研究に従事しました。なかでも、腎細胞癌について、基礎的研究から臨床的研究まで重点的に行いました。1988年から1990年の2年間、New YorkにあるMemorial Sloan-Kettering Cancer Centerに留学し、泌尿器科癌について腫瘍免疫学的研究を行いました。

今回、こちらに就職しましたので、今までに経験した泌尿器科腫瘍学をはじめ、新たに経験するであろう疾患についても勉強し、地域医療に貢献するように努めるつもりです。私の治療方針は、「患者のためになると思われること」、しかも「自分が患者になったとしたら何を望むか」を絶えず考えながら、治療法を選択するようにしています。

第10回 千里臨床カンファレンス

日時：平成20年11月15日(水) 16:00～

場所：済生会千里病院 東館3階 研修室

* 詳細が決まり次第お知らせいたします

平成20年度 第41回 登録医会総会並びに学術講演会

日時：平成21年3月14日(土) 15:30～

場所：千里ライフサイエンスセンター 5階 サイエンスホール

病院の理念

「心のこもった医療」

基本方針

私たち、済生会千里病院の職員は

1. 窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
2. 安全で良質な医療を心をこめて提供します。
3. 医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
4. 地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
5. 常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

患者さんの権利と責務

1. どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
2. あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば、質問してください。
3. あなたが気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談ください。
4. 他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
5. 治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
7. 良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
9. お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。